



のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まりました。開始に合わせ、登別温泉町内会婦人部の皆さんが地獄谷入口において街頭募金を行い、観光客にPRと呼びかけを行っていました。

CONTENTS

- P2 特集 誰もが支え合う地域づくり
～障がい者との協働～
- P3 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金
- P4 きずなシンポジウムを開催しました
チャリティー市民演芸会のお知らせ
生活福祉資金の手続きはお忘れなく
社協寄付金・寄付物品



2023
11.01 No.162

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
 [事務局] 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センターしんた21内
 [TEL] 0143-88-0860
 [FAX] 0143-88-4546
 [mail] info@kizuna-shakyo.jp
 [HP] https://kizuna-shakyo.jp
 [Facebook] https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

誰もが支え合う地域づくり ～障がい者との協働～

登別市社協では、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らし続けることができる「福祉のまちづくり」を進めるため、地域住民や関係機関・団体等と協力して地域福祉活動に取り組んでいます。

災害時の避難や支え合い体制づくりは喫緊の課題であり現在、町内会を中心にそれぞれの地域性に応じた対策や取り組みが進められています。

今回の特集では、地域に暮らしやすさの、災害時を想定した日頃からのつながりづくりについてお伝えします。

【いれまでの取り組み】

登別市社協では市との協力により、きずな安心キット及びきずなづくり台帳を活用した、災害時を想定した日頃からの見守り活動と組織力の強化を目的とした「小地域ネットワーク活動」を推進しています。また、市内小学校等で実施する出前福祉講座において、障がい者が講師となり自身の暮らしの様子を通じて障がいや福祉について理解を深め、誰もがこのまちで支え合いながら暮らし続けるための地域づくりを進めてきました。



【できることから始める】

昨年度、市内の障がい当事者団体で構成される登別市障害者福祉関係団体連絡協議会（通称：障団連）から、障がい者の災害時における避難支援体制を地域住民と一緒に考えたいとの相談を受けました。

登別市社協では、障がい者の暮らしから福祉の心をはぐくむ「福祉教育」の一環として、総合防災訓練に参加する地域住民に、災害時の避難方法を一緒に確認し合う機会として障がい者の暮らしや支援方法等を知る場を設けました。障がいがあっても仕事をしたり、住み慣れた自宅では家事もできることなど、普段の暮らしの様子が障がい者自身から語られ、そのうえで自身では難しいことや避難時に支援が必要なことを伝えられました。

また、7月に行われた総合防災訓練を踏まえ12月には登別市連合町内会と障団連とが日頃の活動内容や暮らしについて意見交換の機会を設けるなど、これまでになかった取り組みが広がりを見せました。



【やがて広がる支え合いの輪】

9月28日、登別市民会館において登別市民生委員児童委員協議会と障団連の共催による「共に生きるひとづくりセミナー」が開催されました。

当日は、参加者が3つのグループに分かれ、障団連に加盟する5団体から、それぞれの障がいの特性や支えがあることで暮らしに安心が生まれること、災害時の支援体制を一緒につくるためにも日頃からの関係性をつくりたいことが伝えられました。

参加した民生委員・児童委員からは「障がいだけに目を向けるのではなく、その人の暮らしや生き方に目をむけていきたい」「災害時、避難所に行くところ周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかという不安があることに共感した」「直接手助けすることも大切だが、日頃から寄り添うこともより大切と感じた」との声が挙がりました。

登別市社協では、小地域ネットワーク活動等を通じた日頃からのつながりづくりや、近隣住民同士が支え合うことのできる体制をより一層強化しながら、今後も地域福祉活動を推進します。



赤い羽根共同募金

歳末たすけあい募金運動が 12月からはじまります!



歳末たすけあい募金運動

毎年12月に共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人たちが安心して暮らすことができるよう実施している募金運動です。

お寄せいただく募金は、すべて登別の福祉活動に活用されます。皆さまのご協力をお願いいたします。

募金の使いみち（一部）

- ◆ **きずなのまちづくり助成事業**
市民ボランティア団体等が行う福祉活動を応援するために。
- ◆ **ふれあい・いきいきサロン事業**
高齢者等の生きがいと居場所づくりを進めるために。
- ◆ **小地域ネットワーク活動推進事業**
町内会による見守り・支え合い活動を広げるために。

街頭募金のご協力

ありがとうございました!

10月の赤い羽根共同募金運動開始の際には、市内7会場において、12団体の協力のもと街頭募金が行われました!ご寄付いただいた皆さま、募金活動にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!

【協力団体】 おはなしりぼん、コンパニア・デマンドリーナ、富浜町内会婦人部、日本ボーイスカウト登別

第1回、登別温泉町内会婦人部、登別更生保護女性会、登別手話の会、登別市老人クラブ連合会、登別聴覚障がい者協会、登別ノルディックウオーキング愛好会、登別朗読ボランティアの会、立正佼成会室蘭教会東支部

【実施協力場所】 イオン登別店、

コープさっぽろしがイースト店、コープさっぽろのぼりべつ東店、スーパーラッキー、登別中央シヨップینگセンターアークス、登別パークサービスセンター、ホームストア幌別店(すべて順不同敬称略)



法人・企業等の皆さまへ

寄付金付き商品・企画で応援!

寄付金付き商品・企画を通して募金する力たちで地域福祉に貢献する取り組みです。本業を活かした商品の開発、売上の一部を赤い羽根共同募金へご寄付いただくことで、**企業と商品のPRや地域貢献へつながります。**

応援してくださる企業や法人、店舗等の皆さま、ご連絡をお待ちしています。

【例えば:】

- 特定の商品の売り上げの一部を寄付
- 企業等と赤い羽根共同募金とがコラボレーションした寄付金付きグッズの開発



赤い羽根募金付き自動販売機設置で応援!

社内外や店舗前等に「赤い羽根募金付き自動販売機」を設置し、社員やお客様が飲料を購入することで**売り上げの一部が寄付**されるしくみです。設置場所のご提供や月々の電気代はご負担いただきますが、自動販売機の設置はすべて無料で、管理や商品の補充等の対応はすべて販売業者が行います。

新規設置だけではなく、**すでに設置されている自動販売機を募金付き自動販売機に移行することが可能です!**

企業のPRや地域貢献へつながりますので、皆さまのご連絡をお待ちしています。



1個 500円

正面出入口にて、登別市ご当地ピンバッジを取り扱いいただきました!

登別伊達時代村様



ご協力ありがとうございます ございます

事業所に赤い羽根募金付き自動販売機2機の設置いただきました!
今回の設置協力により登別市内において4か所目の設置となりました。

北海道曹達株登別工場様



登別市共同募金委員会(登別社協内)

平日9時から17時半 電話 08660

きずなシンポジウムを開催しました

8月10日、しんた21において登別市におけるこれからの住民主体の福祉活動の姿を考えるため、きずなシンポジウムを開催しました。冒頭に登別市社協より第4期きずな計画の経過と今後の取り組みについて報告し、その後市内の4名の実践者からそれぞれの取り組み内容と大切に行っていることなどについて発表がありました。

登別市連合町内会事務局長の鳴海文昭さんは、「町内会の防災活動は個人を、地域を護る」をテーマに、町内会で取り組んでいる見守り活動や地域住民との関わりを通じた気づき、これから取り組みたい災害時の支援体制などを話されました。

登別小学校区きずな推進委員会の伊藤芳雄さんからは、地域住民の暮らしを豊かにするための校区内の社会福祉法人と連携した買い物支援事業の展望を話され、驚別地区民生委員児童委員協議会の松平孝子さんからは自身が関わったことのある世帯や知人の暮らしの困りごとが多様化していること、そうした世帯に関わり続ける熱意の源を話されました。

最後に登別更生保護女性会の坂東百合子さんからは、登別地区で開催している子ども食堂をなぜ開催することになったのかや、参加する子どもたちの様子を写真紹介とともに話され、会場に集まった100名を超える参加者は、発表者の活動に対する想いに耳を傾けていました。

全体のコーディネートを務めた、きずな大使の鳥居一頼さんからは、それぞれの発表内容を振り返りながら、活動そのものに目を向けることも大切であるが、その活動によって助けられる人や生きがいを持つことができる人の存在に目を向けることの大切さを話されました。



チャリティー市民演芸会のお知らせ

登別地区 2023年11月18日(土) 13時から
登別市観光交流センターヌブル
幌別地区 2024年1月13日(土) 13時から
登別市民会館 大ホール
※驚別地区は中止です。

生活福祉資金の手続きはお忘れなく

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付を受けられた世帯で、一定の要件を満たせば償還免除や猶予となる場合があります。北海道社会福祉協議会から郵送される書類をご確認いただき、ご不明な点はお問い合わせください。

寄付者のご紹介 (2023年8月1日～2023年9月30日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付目的
2023.08.01	匿名	1,020	会議での費用弁償を社会福祉のために
2023.08.18	わくわく広場のぼりべつ実行委員会	15,000	わくわく広場のぼりべつでの益金を社会福祉のために
2023.08.07	のぼりべつ夏祭り×ブランドまるしえ実行委員会	14,493	のぼりべつ夏祭り×登別ブランドまるしえ2023での愛の小箱
2023.08.10	匿名	2,694	社会福祉のために
2023.08.29	(有)やまもと急配サービス	8,637	社会福祉のために
2023.09.14	佐藤政勝	100,000	社会福祉のために
2023.09.15	わしごうD愛好会	10,000	ダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために
2023.09.21	登別中央飲食店組合	50,000	登別中央飲食店組合創立70周年を記念した「チャリティゴルフ大会」での益金を社会福祉のために

愛の小箱等設置協力者のご紹介 (2023年8月1日～2023年9月30日)

(敬称略/単位:円)

設置協力者名	寄付金額	累計寄付金額	種別
登別市母子寡婦の会 市役所内 売店	16,281	70,375	愛の小箱
登別中央ショッピングセンター アーニス	8,200	351,098	ピンバッジガチャ・ガチャガチャ
ふれあいの店	2,400	36,000	ピンバッジガチャ

寄付物品のご紹介 (2023年8月1日～2023年9月30日)

(敬称略)

受領年月日	寄付者名	寄付物品名
2023.09.28	NHPソリューション(株)	PERFECT BLOCK PRO マスク(1個50枚入り/1カートン24箱入り)×50箱